

保育園の自己評価

社会福祉法人 鶴見乳幼児福祉センター 駒岡保育園

H27年11月作成 * 2019年11月実施

保育理念

＜子どもの人権・人格の尊重・自立への援助＞

* 子ども時代を子どもらしく生きる

温かく見守り、子どもの最善の利益を考慮する。

現在を最もよく生き将来望ましい未来を作り出せる力を養えるように適切な援助をして日々の保育活動を行う。

* 子ども達一人一人を大切に保育

一人一人が快適に過ごせる環境づくりと共に、保育者を含めた周りの環境に自ら関わり、

その中でいろいろな経験をしながら遊びを展開していける保育活動を行う。

また、子どもが愛されている・自分は大切な存在だと感じられる保育活動も行う。

基本方針

* 愛と希望に満ちた明るい保育を目指し、子ども達の人間形成の基礎作りをする。

* 地域社会や保護者の意見を大切に、相互の連携を密にして信頼関係に基づく保育運営に努める。

* 地域に開かれた施設として、保育園で持っている乳幼児保育に必要な事柄の提供・開放を行う。

保育目標

『いっぱい遊ぼう 笑顔の毎日～Smil and Heart～』

遊ぶの大好き 食べるの大好き 元気印

自分が好き みんなも好き ハート印

子ども達の声が響きわたり、笑顔があふれている保育園。

『子どもが主役』の保育園を目指し、

子ども一人一人を大切に作る。

名前 _____

評価記入方法

- | | |
|-------------|----------|
| a 良くできている | c やや不十分 |
| b だいたいできている | d 改善を要する |

項目	内容	記入年	評価項目ごとの評価結果				意見・改善策
			a	b	c	d	
保育理念・目標について	①子どもの人権・人格を尊重し子どもの意思・自立への 援助が出来ている。	2020	50	50	0	0	保育士の感情で動かないようにしたい
		2021					
		2022					
	②子ども達一人一人を大切に保育している。	2020	71	29	0	0	個別カリキュラムを必要な子どもに立てて実行している
		2021					
		2022					
	③保育理念・目標は全員で検討し、かつ共通理解を図っている。	2020	54	29	7		1年に1度全員で読み合うといいいのではないかと各会議で話し合っている 事務所・ランチルームに掲示してある
		2021					
		2022					
	④理念・目標は子どもを尊重したものになっている。	2020	75	25	0	0	
		2021					
		2022					
⑤温かく見守り、子どもが自分の思いなどを保育者に伝える大切さを職員が共通理解している。	2020	68	25	7		全職員が理解して意識した保育を行っていない部分もある	
	2021						
	2022						
⑥現在を最も良く生き、将来望ましい未来を作り出せる力を養えるように適切な援助をしている。	2020	43	57	0	0		
	2021						
	2022						
保育発達援助	⑦温度、湿度、採光、音が常に適切に保たれている。	2020	46	50	4		夏の温度が高く、冬低すぎる記録を取り、適切な温度を意識している
		2021					
		2022					
	⑧指導計画は子どもが興味、関心をもって好きな遊びを十分楽しめるようになっている。	2020	57	39	4		
		2021					
		2022					
	⑨子どもが健康に生活する場になっている。	2020	57	39	4		コーナーに分けわかりやすくなっている 密になってしまうところがある
		2021					
		2022					
	⑩指導計画は定期的に評価、見直しを会議等で行い共有している。	2020	75	18	7		会議で報告し、全員で共有を図っている
		2021					
		2022					
⑪異年齢交流の計画を作成し実施している。	2020	61	36	0	0	コロナの関係で少なかった週案の一本化を図りたい 異年齢活動(散歩・コーナー)	
	2021						
	2022						
⑫子どもが好きな遊びを十分楽しめるよう柔軟性のある計画になっている。	2020	46	54	0	0	保育士の役割分担を明確化したい	
	2021						
	2022						

項目	内容	記入年	評価項目ごとの評価結果				意見・改善策
			a	b	c	d	
発達援助	⑬子どもの生活の連続性を踏まえ、保護者との連携、情報共有が行われている。	2020	43	43	11		クラスノートを使い情報共有している おたよりや連絡帳を使用し共有している
		2021					
		2022					
	⑭子どもが愛されている、自分は大切な存在だと感じられる保育活動を行っている。	2020	61	29	0	0	出来た時にはほめる・認めている
		2021					
2022							
⑮子どもが遊具や用具、素材など自分で取り出して遊べるようになっている。	2020	43	50	4	0	用具・遊具の置き場を工夫したい 片付け・整頓が問題	
	2021						
2022							
⑯経過記録を活用し、進級児の申し送りを担任間で行っている。	2020	57	43	0	0	クラス引継ぎを毎年行っている	
	2021						
2022							
⑰子どもが自己選択、自己決定、自己活動できる環境を確保している。	2020	57	32	7	0	職員の人数に余裕のある時はできるが難しい時もある 遊びが連続できるよう個人カードを利用している	
	2021						
	2022						
保育について	⑱子どもの年齢発達にふさわしい環境構成にしている。	2020	46	50	4	0	幼児が一緒・玩具も一緒の為乳児クラスから進級した時は難しさを感じる場面もある
		2021					
	2022						
	⑲環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫し、清潔、安全が保たれている。	2020	46	46	7	0	掃除等清掃に工夫を必要とする
		2021					
	2022						
	⑳子どもが自分から思わず関わりたくなるような魅力ある環境構成をしている。	2020	21	68	7	0	玩具の入れ替えを定期的に行うようにしている 話し合いを持ち、よりよくなっていきたい
		2021					
		2022					
	環境	㉑必要に応じてプライバシーが守られる空間を確保できるよう工夫している。	2020	43	54	7	0
2021							
2022							
㉒季節の移り変わりが感じられるような環境を構成している。		2020	29	57	7		製作でしているが環境を今後工夫 旬の食べ物を掲示
		2021					
2022							
㉓子どもが人とのやり取りを育む環境を構成している。		2020	50	46			異年齢保育を実施し、年齢を超えたかかわりができるようにしている
	2021						
	2022						
㉔長時間における保育の環境を整備し、保育の内容や方法を職員で共有している。	2020	36	54	7	0	ミーティング引継ぎノートを利用	
	2021						
	2022						
養護と教育	㉕小学校への移行が円滑に行われるよう、交流したり、要録の送付等を行っている。	2020	29	29	14	7	コロナで交流が出来なかった
		2021					
		2022					

項目	内容	記入年	評価項目ごとの評価結果				意見・改善策
			a	b	c	d	
保育について 養護と教育	②⑥職員が養護と教育を理解し実践している。	2020	25	64	11		正規・非正規で学び合う機会があると良い 全職員の理解を深めたい
		2021					
		2022					
	②⑦統合保育の意味や有益性を理解し共有している。	2020	21	61	14	4	
		2021					
		2022					
	②⑧配慮を要する子どもや障害のある子どもの対応やケアについて職員が情報を共有している。	2020	46	46	7		ミーティング・会議で行っている
		2021					
		2022					
	②⑨保護者と必要に応じて情報の共有をしている。	2020	57	32	11	0	コロナの為保護者と接する機会が減った
		2021					
		2022					
健康・安全について	③⑩内科健診、歯科検診、身体測定等を定期的に行い、配慮が必要な結果であれば、医師の指示に従っている。	2020	71	29	0	0	
		2021					
		2022					
	③⑪全職員に対してSIDSに関する知識が周知され取組が適切に行われている。	2020	61	29	11	4	プレスチェックをこまめに行っている 短時間雇用の職員への周知の徹底を図る
		2021					
		2022					
	③⑫配慮を要する子どもの食事の提供方法や誤飲防止等について、マニュアル等を作成し、職員間で共有している。また、医師の指示のもとで除去食を提供している。	2020	46	21	14	0	アレルギー対応マニュアルがあり事故がないよう職員が統一したやり方で行っている
		2021					
		2022					
	③⑬食の大切さを知り、食事を楽しめるよう工夫したり働きかけている。	2020	54	46	0	0	幼児クラスはレストラン制度を行い、一人一人のタイミングで食べられるよう工夫している
		2021					
		2022					
③⑭避難訓練等安全に関する訓練が定期的に行われ、適切な対応が職員に身についている。	2020	46	50	4	0	毎月行っている	
	2021						
	2022						
保護者支援	③⑮保護者に寄り添い保護者が自己決定を出来るように、子育ての相談に応じたり、個人面談の機会を設けるなど、積極的に保護者に対する支援を行っている。	2020	43	43	11	0	
		2021					
		2022					
	③⑯保護者と日常的なコミュニケーションを図り、信頼関係を築く大切さを職員間で共有している。	2020	29	54	7	0	保育者のより答えが違うと言われた コロナで今年はかかわりが少なかった
		2021					
		2022					
	③⑰児童虐待を発見した場合の対応について、マニュアルがあり職員間で確認している。	2020	36	46	11	0	
		2021					
		2022					
	③⑱家庭支援の必要な保護者を援助し、虐待を予防する体制になっている。	2020	43	50	4	4	
		2021					
		2022					

項目	内容	記入年	評価項目ごとの評価結果				意見・改善策
			a	b	c	d	
地域支援	③⑨地域のニーズ(子育て支援・高齢者の福祉等)に応じて、施設の専門性を生かしたサービスを提供している。	2020	32	46	18	4	コロナで生かしきれなかった
		2021					
		2022					
	④⑩職員が子育て支援の重要性を認識し、保護者が安心して気持ちよく利用できるよう共通認識している。	2020	36	61	4	0	
		2021					
		2022					
	④⑪実習生、職業体験、ボランティア等の受け入れマニュアルがあり、保育所の基本姿勢や方針を職員に周知している。	2020	50	29	7		コロナで受け入れが少なかった 短時間雇用の職員への周知の徹底を図る
		2021					
		2022					
	④⑫地域と協力して行事を行う等、地域の団体や機関と連携している。	2020	25	43	25	4	コロナの関係で出来なかった
		2021					
		2022					
	④⑬ホームページ、パンフレット等の資料を、公共の場におくなど情報の公開をしている。	2020	57	29	4	0	今後、ブログ更新など要検討
		2021					
		2022					
職員の資質向上	④⑭保育士は自らの保育実践を振り返り評価し専門性の向上や改善に努めている。	2020	64	32	4		
		2021					
		2022					
	④⑮年間を通して自己評価する機会を設けている。	2020	71	29	0	0	
		2021					
		2022					
	④⑯自己評価を活かしてキャリアアップを図るよう育成している。	2020	54	43	4	0	
		2021					
		2022					
	④⑰研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させている。	2020	61	29	0	0	
		2021					
		2022					
	④⑱評価の結果を課題として明確にし、改善につなげている。	2020	29	50	11		
		2021					
		2022					
④⑲各職員に期待される役割、目標、人材育成の方法が明確化され、計画的に行っている。	2020	43	43	14	0	人事考課制度を行っている 個別にヒアリングを実施 研修の実施	
	2021						
	2022						
④⑳非常勤職員に関しても資質向上に向け、研修の機会を設けている。	2020	54	29	7	0	参加されている方の発言の機会を増やしたい	
	2021						
	2022						
運営・管理的責任	苦情を職員間で共有し、保育の改善に生かしている。	2020	46	46	4	4	
		2021					
		2022					
苦情解決緒仕組みを保護者に説明している。	2020	43	43	7	4		
	2021						
	2022						
項目	内容	記入年	評価項目ごとの評価結果				意見・改善策

項目	内容	年次	達成率(%)				コメント(改善点)
			a	b	c	d	
運営・管理・社会的責任	守秘義務の意義や目的を全職員に周知している。	2020	61	36	0	4	
		2021					
		2022					
	保育園の専門性を高め、活性化を図るため自己研鑽に対する援助や助言をしている。	2020	36	57	7	0	
		2021					
		2022					
	地域にある保育園として社会的責任を果たし専門性の向上に努めている。	2020	36	50	7	0	
		2021					
		2022					
	各種会議を適切且つ効率的に進めている。	2020	50	50	0	0	タイムキーパーが必要と感じる各会議で同じことを伝えていることもある 一人ひとりに発言を増やしたい
		2021					
		2022					
	職務内容が明確で協働できる体制になっている。	2020	29	50	11	4	時間割(仕事内容)作り コミュニケーションの工夫が必要
		2021					
		2022					
	職員を適材、適所に配置している。	2020	25	57	4	11	職員の要望を取り入れた配置となっている
		2021					
		2022					
各種会計を適正かつ適切に処理している。	2020	61	25	4	0		
	2021						
	2022						